

薬事委員会記録

日 時：平成 27 年 6 月 4 日(木) 16 時 00 分

場 所：医学部 1 階 小会議室

出席者：伊藤、鶴見、諏訪、村瀬、早崎、瀧上、江頭、川瀬、棚橋、加納、市川、山本、田中、田辺、畠山、白上、久保田、荒木、村上、折居、玉井、安田(浩)、小森、鈴木、西垣(美)

代理出席者：大野〔2 内〕、二村〔2 外〕、水谷〔泌尿器〕

委任状提出：加藤

欠席者：木村(暁)、山内、長瀬、南谷、紀ノ定、吉田、堀川、酒々井、生熊

記録の承認

平成 27 年 3 月 5 日開催の薬事委員会の記録を承認した。

協議事項

1. 医薬品の採用について

5 品目（カドサイラ点滴静注用 100mg、カドサイラ点滴静注用 160mg、グラナテック点眼液 0.4%、ザルティア錠 5mg、ネオキシテープ 73.5mg）の採用を承認した。

2. 医薬品の継続試用について

8 品目（ミルセラ注シリンジ 150 μ g、スプレキュア MP 皮下注用 1.8、ミレーナ 52mg、オイパロミン 300 注 50mL・同 100mL、レスピア静注・経口液 60mg、メチレンブルー静注 50mg「第一三共」、大塚生食注 2 ポート 100mL）の継続試用を承認した。

3. 医薬品の新規試用について

6 品目（ザファテック錠 100mg、パージェタ点滴静注 420mg/14mL、ドキシル注 20mg、ミダフレッサ静注 0.1%、クレナフィン爪外用液 10%、タケキャブ錠 20mg）について、申請診療科および薬剤部より説明された後、新規試用の承認可否について投票を実施した。その結果、原案通り全て承認された。ただし、ザファテック錠 100mg とタケキャブ錠 20mg の外観が類似しており、両剤が同時処方されないように配慮すべきであるとの指摘があった。

4. 医薬品の採用中止について

6 品目（ジゴシン散 0.1%、沈降炭酸カルシウム「ケンエー」、リンデロン-DP 軟膏 0.064%、アラセナ-A 点滴静注用 300mg、シスプラチン点滴静注 25mg「マルコ」、強力ネオミノフアーゲンシー静注シリンジ 40mL）の採用中止を承認した。

報告事項

1. 院外採用医薬品に関する薬事委員会 WG での決定事項

①医薬品の院外採用について

12 品目（トリーメク配合錠、ノボエイト静注用 2000、パリエット錠 5mg、カナグル錠 100mg、ジャディアンス錠 10mg、ビデュリオン皮下注用 2mg ペン、ルティナス膣錠 100mg、シムジア皮下注 200mg シリンジ、ジェイゾロフト OD 錠 25mg・同 50mg、ジプレキサザイデイス錠 10mg、ベピオゲル 2.5%）の院外採用が報告された。

②医薬品の院外採用中止について

4 品目（テシプール錠 1mg、ジェイゾロフト錠 25mg・同 50mg、ビデュリオン皮下注用 2mg）の院外採用中止が報告された。

②同一成分で複数銘柄が採用されている院外採用医薬品

過去 1 年間の使用実績に差がある 10 組について、処方量の少ない品目を採用中止とし、汎用されている品目のみを採用することが報告された。

2. 院外採用中止医薬品について

過去 3 年以上処方のない医薬品 58 品目の院外採用中止が報告された。

3. 規格変更医薬品について

3 品目（エルカルチン FF 錠 100mg・同 250mg、バロジェクトゾル 100）の規格変更が報告された。

4. 製剤変更医薬品について

4 品目（ペチジン塩酸塩注射液 35mg「タケダ」、プロプラノロール塩酸塩錠 10mg「日医工」、トランサミン注 5%・同 10%）の製剤変更が報告された。

5. 販売中止医薬品について

2 品目（プロパデルム軟膏 0.025%、プロパデルムクリーム 0.025%）の販売中止が報告された。

6. 緊急購入医薬品の登録について

7 品目（ビブラマイシン錠 100mg、ボシュリフ錠 100mg、ランプレンカプセル 50mg、ノウリアスト錠 20mg、ラパリムス錠 1mg、ファブラザイム点滴静注用 5mg・同 35mg）の緊急購入の登録が報告された。

7. 新規採用ワクチンについて

メナクトラ筋注の新規採用が報告された。

その他

1. 後発品への切替について

医薬品費適正化 WG にて、入院 DPC における医薬品購入額上位 100 品目を対象として、切替負荷の要望のなかった 32 品目と条件付で切替可能な 3 品目の計 35 品目の後発品への切替が報告された。岐阜大学病院の後発医薬品使用率は全国の国立大学病院の中では下位であり、更なる後発品への切替が必要であるとの説明があった。そのため、最初の調査で切替不可であった 13 品目を除いた残りの 52 品目について、切替を検討中であるとの報告があった。

2. 院内特殊製剤の調製状況及び使用状況について

平成 26 年度の院内特殊製剤の調製状況及び使用状況について報告された。

3. 処方せんの記載様式の変更について

処方せんの新記載様式に対応できるように次期システムを開発中であることが報告された。

4. 一般名処方への対応について

一般名処方でのオーダに対応できるように次期システムを開発中であることが報告された。

（その他）厚生省の立入検査について

平成 27 年 7 月 27 日（月）に厚労省の立入検査が実施される予定であることが報告された。

次回薬事委員会の開催日時は、平成 27 年 9 月 3 日（木）とした。